

日本沙漠学会
沙漠誌分科会 2016（平成 28）年度総会

平成 28 年 5 月 27 日（金） 15 : 00-16 : 00

鳥取市

次 第

開 会

会長挨拶（縄田会長）

報告事項

1. 平成27年度活動報告・決算
2. 平成28年度活動計画・予算
3. その他

閉 会

1. 平成 27 年度活動報告・決算

(2016 年 3 月 31 日現在、登録者数：65 名)

1.1. 運営組織

事務局

分科会長：牛木久雄

事務局長：縄田浩志

事務局担当補佐：(主担) 渡邊三津子・(副担) 宮寄英寿

運営委員

財務委員 (※委員長)：石山 俊※、石本雄大

広報委員 (※委員長)：渡邊三津子※ 古澤文

編集委員 (※委員長)：古澤文※、宮寄英寿

企画委員 (※委員長)：宮寄英寿※、石山俊、遠藤仁、杉原 創

1.2. 総会

2015 年 05 月 24 日 (日) カレッジプラザ (秋田市) で開催された日本沙漠学会第 26 回学術大会において、沙漠誌分科会 2015 年総会を開催した。

1.3. 研究会・シンポジウム

(主催)

(1) 2015 年 11 月 15 日 (日) 首都大学東京秋葉原サテライトキャンパスにおいて、沙漠誌分科会研究会「乾燥地土壌と人々の生業に関わる研究会」を開催した。小崎 隆 (首都大学東京) による基調講演「土と人との永いつきあい～国際土壌年によせて」の後、伊ヶ崎健大 (JIRCAS)「サヘルでの暮らしにとけこむ砂漠化対処」、清水貴夫 (総合地球環境学研究所)「西アフリカ・半乾燥地の水食をめぐるローカル・ナレッジと人びとの営み」、高田裕介 (農業環境技術研究所)「土壌有機物の減耗：カザフスタン北部穀作地帯の農地管理は適正だろうか?」、川田清和 (筑波大学)「モンゴル草原のヒツジは何をどれくらい食べているのか?」の 4 発表がなされた。(以上、敬称略)

(共催)

(1) 2015 年 5 月 23 日 (土)～24 日 (日) カレッジプラザ (秋田市) で開催された日本沙漠学会第 26 回学術大会の開催に合わせ、同会場にて片倉もとこ記念沙漠文化財団と共催で写真展示「半世紀前 片倉もこの見たオアシス ワーディ・ファーティマ」を開催 (片倉もとこ記念沙漠文化財団と共催) した。

(2) 2016 年 1 月 15 日 (金) 酪農学園大学で開催された「アジア・アフリカ乾燥地の社会・生態変化への適応」を共催した。

2016 年 3 月 25 日 (金) 北海道大学東京オフィスにて開催された第 1 回中央ユーラシア

「開発と物流」研究会「中央アジアにおける市場・流通と農業の現代的変容」を共催した。
(後援)

(1) 2015年05月16日(土)・17日(日) 京都大学・稲盛財団記念館大会議室で開催された公開シンポジウム「家畜化と乳利用 その地域的特性をふまえて一搾乳の開始をめぐる谷仮説を手がかりにして」を後援した。

1.4. 沙漠研究小特集

2014年度に開催された研究会「世界の半乾燥地における家畜糞利用」に関する小特集が、日本沙漠学会誌「沙漠研究」Vol.25No.2に掲載された。

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jals/25/2/_contents/-char/ja/

1.5. 情報発信

1.5.1. ホームページ

2013(平成25)年度に開設したホームページ(URL <http://sabakushi.com/index.html>)を用いて随時研究会情報などを公開している。

1.5.2. ニュースレター

2016年3月31日に第4号をオンライン発行した。なお、ニュースレターは、ホームページ内(<http://sabakushi.com/publish.html>)で公開している。

1.5.3. メーリングリスト

2013(平成25)年度に再作成したリストを元に、研究会開催案内や、ニュースレター発行情報の発信等の情報共有を行っている。なお、メーリングリストは新規会員を加えて随時更新している。

1.6. 決算報告

決算書 ([資料1](#)) 参照

2. 平成28年度活動計画・予算

2.1. 運営組織

分科会会長：縄田浩志 (秋田大学国際資源学部)

〒010-0851 秋田市手形学園町1-1 秋田大学国際資源学部

連絡先(事務局)：渡邊三津子 (奈良女子大学共生科学研究センター)

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

奈良女子大学コラボレーションセンター107室

Tel: 0742-20-3687 (共同)、E-mail: sabakushi.C@gmail.com

事務局

分科会長：縄田浩志

事務局長：渡邊三津子

事務局担当補佐：遠藤 仁

運営委員

財務委員（※委員長）：石山 俊※、石本雄大

広報委員（※委員長）：渡邊三津子※ 古澤 文

編集委員（※委員長）：古澤 文※、遠藤 仁

企画委員（※委員長）：宮寄英寿※、石山 俊、杉原 創

2.2. 総会

2016年5月27日（金）、鳥取大学乾燥地科学研究センターで開催される第27回日本沙漠学会学術大会に先立ち、沙漠誌分科会2016年度総会を開催予定。

2.3. 研究会・シンポジウム

（研究会案）

年度内に1～2回の研究会を開催する。今年度は、運営委員以外のメンバーを中心とする研究会の企画に努める。会員からの積極的な企画持ち込みをお願いいたします。

例)「紛争以外のシリアを知っていますか？」(東京外語大学ほか)

（共催案）

2016年11月3日に開催される片倉もとこ記念沙漠文化財団が主催する公開シンポジウムを共催する。

（沙漠文化の研究に役立つ勉強会・研修会の企画や後援）

例) 秋田大学で開催される「GIS研修会」など

2.4. 沙漠研究小特集

2014年度に開催された研究会「熱帯地域における酒と発酵食品」について、2016年度中の沙漠研究小特集掲載に向けて査読を実施中。2016年度開催予定の研究会についても、小特集を組みたい。

2.5. 情報発信

ホームページ、ニューズレター、メーリングリストなどを用いて、情報発信を継続する。

2.6. 予算

資料2参照

3. その他

その他 分科会メンバーからの企画案を随時募集する。

資料 1

平成 27 年度沙漠誌分科会決算報告

	費用	決算額	予算額	対予算額 増減	摘要
収入の 部	前年度繰越金	6,665	6,665	0	
	分科会交付金	29,023	30,000	-977	
	合計	35,688	36,665	-977	
支出の 部	会議運営費	0	10,000	-10,000	会議運営補助謝金 ※共催機関より充当
	会議出張旅費補助	0	18,550	-18,550	報告者等旅費補助 ※共催機関より充当
	情報発信関連費 (1) ※ニューズレター関連	0	0	0	
	情報発信関連費 (2) ※ホームページ関連	7,642	8,115	-473	HP 用サーバレンタル(消 費税差額分含 5142、請求 書発行 324、HP 用ドメイ ン 1852、請求書発行 324)
	合計	7,642	36,665	-29,023	

資料 2

平成 28 年度沙漠誌分科会予算案

	費用	予算額	前年度 決算額	対前年度額 増減	摘要
収 入 の部	前年度繰越金	28,046	6,665	21,381	
	分科会交付金	30,000	29,023	0	
	合計	58,046	35,688	22,358	
支 出 の部	会議運営費	10,000	0	10,000	会議運営補助 謝金
	会議出張旅費補助	10,000	0	10,000	報告者等旅費 補助
	情報発信関連費 (1) ※ニューズレター関連	29,931	0	29,931	ニューズレタ ー印刷 (過去発 行分の紙媒体 化費用含む)
	情報発信関連費 (2) ※ホームページ関連	8,115	8,115	0	HP 用サーバレ ンタル 5000, HP 用ドメイン 1800, 請求書発 行 315*2
	合計	58,046	7,642	50,404	